

## ICT活用工事（法面工）特記仕様書（案）

### （ICT活用工事（法面工））

**第1条** 本工事は、受注者の提案・協議により、法面工等において起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録などの関係書類について3次元データ等を活用するICT活用工事（法面工）の対象工事である。

### （定義）

**第2条** ICT活用工事（法面工）とは、法面工等において以下に示す施工プロセスの全ての段階において、ICTを活用する工事である。

#### 【施工プロセスの各段階】

- ① 3次元起工測量
- ② 3次元設計データ作成
- ③ 該当なし
- ④ 3次元出来形管理等の施工管理
- ⑤ 3次元データの納品

### （ICT活用工事（法面工）の実施）

**第3条** 受注者は、ICT活用工事（法面工）を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出までに発注者へ提案・協議を行い、協議が整った場合に第5条以降によりICT活用工事（法面工）を行うことができるものとする。

### （施工範囲）

**第4条** 原則、本工事の法面工等の施工範囲の全てで適用することとし、具体的な工事内容および対象範囲を発注者と協議するものとする。なお、実施内容等については施工計画書に記載するものとする。

### （施工プロセスの各段階）

**第5条** 施工プロセスの各段階において、ICTを用い以下を施工するものとする。

- ① 3次元起工測量

受注者は、本工事の起工測量において、3次元測量データを取得するため、次の1)～8)から選択（複数選択可）して測量を行う。

法面工等の関連施工として I C T 土工が行われる場合、発注者と協議を行い、承諾を得ることにより、その起工測量データ及び施工用データを活用することができるものとする。

- 1) 空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
- 2) 地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 3) トータルステーション等光波方式を用いた起工測量
- 4) トータルステーション(ノンプリズム方式)を用いた起工測量
- 5) R T K - G N S S を用いた起工測量
- 6) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 7) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 8) その他の 3 次元計測技術を用いた起工測量

② 3 次元設計データ作成

受注者は、設計図書や①で計測した測量データを用いて、3 次元出来形管理を行うための 3 次元設計データを作成する。

③ I C T 建設機械による施工

該当なし。従来工法により施工とするものとする。

④ 3 次元出来形管理等の施工管理

(1) 出来形管理

受注者は、法面工等の施工管理において、次の 1) ～ 8) から選択（複数選択可）して、出来形管理を行う。

- 1) 空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
- 2) 地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 3) トータルステーション等光波方式を用いた起工測量
- 4) トータルステーション(ノンプリズム方式)を用いた起工測量
- 5) R T K - G N S S を用いた起工測量
- 6) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 7) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 8) その他の 3 次元計測技術を用いた起工測量

なお、計測装置位置と計測対象箇所との離隔・位置関係により 1) ～ 8) の I C T を用いた計測においては、精度確保が困難となる箇所や繰り返し計測を行うことが必要となる箇所等も想定される。当該箇所においては、発注者と協議を行い、承諾を得ることにより、施工段階における出来形計測結果が判る写真・画像データ等と併用するなど、他の計測技術による出来形管理を行うことができるものとする。

(2) 出来形管理基準および規格値

現行の基準および規格値を用いるものとし、出来形の算出は、次の１）の計測要領によるものとする。

１）３次元計測技術を用いた出来形計測要領

⑤ ３次元データの納品

受注者は、④により確認された３次元施工管理データを、工事完成図書として納品する。

（基準）

**第６条** ＩＣＴ活用工事（法面工）の実施にあたっては、埼玉県が定めた「ＩＣＴ活用工事において準用する要領及び基準」により行うものとする。

（工事完成図書の納品）

**第７条** 工事完成図書の納品にあたっては、「埼玉県電子納品運用ガイドライン」に基づくもののほか、次のとおりとする。

- ① 電子成果品のフォルダ構成については、電子媒体のルート直下に「ICON」フォルダを置く。
- ② 「ICON」フォルダには、ＩＣＴ活用工事（法面工）に係る電子データファイルを関連する要領及び基準等に従い格納する。

（ＩＣＴ機器類及び貸与品）

**第８条** 第５条の施工のために使用するＩＣＴ機器類は、受注者が調達するものとする。また、施工に必要なＩＣＴ活用工事（法面工）用データは、受注者が作成するものとする。使用するアプリケーション・ソフト、ファイル形式については、事前に発注者と協議するものとする。

- ２ 発注者は、３次元設計データの作成に必要な詳細設計において作成したＣＡＤデータを受注者に貸与するものとする。また、ＩＣＴ活用工事（法面工）を実施する上で有効と考えられる詳細設計等において作成した成果品と関連工事の完成図書は、積極的に受注者に貸与するものとする。

（ＩＣＴ活用工事（法面工）の費用）

**第９条** 受注者が、契約後、施工計画書の提出までに発注者へ提案・協議を行い、協議が整った場合、ＩＣＴ活用工事（法面工）を実施する項目については、設計変更の対象とするものとする。また、３次元起

工測量、3次元設計データの作成を行った場合は、発注者からの依頼に基づき、見積り書を提出するものとする。

**（調査への協力）**

**第10条** 発注者がICT活用工事（法面工）に係るアンケート調査を実施する場合は、受注者は発注者に協力するものとする。

**（補 則）**

**第11条** 本特記仕様書に疑義が生じた場合または記載の無い事項については、発注者と協議するものとする。